

平成 30 年度

「運営に関する計画」

大阪市立中大淀幼稚園

平成 30 年 10 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 家庭で大切に育てられ穏やかで人懐っこい子が多いが、言葉で自分の気持ちを表現する経験に乏しく、新しい活動には消極的で環境の変化で不安定になる姿が見られる。園生活の中で就学前教育カリキュラムの「知・徳・体」をバランスよく取り入れた活動を行い、子どもたちが主体的に楽しんで遊ぶ中で自己肯定感を育てる。
- 併設する大淀小学校との幼小連携、大淀保育所が対面にある立地条件を生かした幼保交流、近隣の大淀中学校との交流が本園の特色である。未就園児や地域の人とのかかわりの機会も多い。いろいろな人とふれあう中で周りの人に対する愛情や思いやりの気持ちを育てる。また併設小学校との交流活動を通して、就学への期待感を高める。
- 子育てに対しての保護者の関心は比較的高い地域ではあるが、各家庭様々で入園前の個人差も大きい。一人一人の実態に合わせた指導と、子どもたちの健康な体づくりのための基本的生活習慣の自立と食育の大切さを啓発する。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・平成32年度の保育アンケート調査で、「お子さんは幼稚園や家庭・地域などで非常災害が起こった時、自分の身を守る方法を知っていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・平成32年度の保育アンケート調査で、「地域の保育所や中学校と相互に理解を深め、交流活動を工夫している」「幼稚園は地域の様々な人とかかわりの機会を設け、いろいろな年代の人と触れ合うことができているか」「子どもは年度当初にくらべて、進んであいさつをしていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・平成32年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は遊びから学びへのつながりを大切にし、小学校に親しみをもつことができるように、小学校との連携活動を工夫している」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・平成32年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は園の保育内容や取組を分かりやすく保護者や地域に発信していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・平成32年度の保育アンケート調査で、「子どもは、幼稚園に行くことを楽しんでますか」「幼稚園の教育内容に満足していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・平成32年度の保育アンケート調査で、「子どもは、様々な体験を通して、体を存分に動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・平成32年度の保育アンケート調査で、「お子さんは正しい生活習慣（うがい・手洗い・早寝、早起きなど）が身についていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・平成32年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は『食育だより』や、食に関する掲示・朝食チェックシートなどを通して食の大切さを啓発している」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

学校園の年度目標

- ・平成 30 年度の保育アンケート調査で、「お子さんは非常災害時に対する避難の仕方を意識することができますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で 80%以上にする。
- ・平成 30 年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は地域の様々な人とのかかわりの機会を設け、いろいろな年代の人と触れ合うことができますか」「子どもは年度当初にくらべて、進んであいさつをしていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で 80%以上にする。
- ・平成 30 年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は遊びから学びへのつながりを大切にし、小学校に親しみをもつことができるように、小学校との連携活動を工夫している」「地域の保育所や中学校と相互に理解を深め、交流活動を工夫している」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で 80%以上にする。
- ・平成 30 年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は園の保育内容や取組みを分りやすく保護者や地域に発信していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で 80%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

学校園の年度目標

- ・平成 30 年度の保育アンケート調査で、「子どもは、幼稚園に行くことを楽しんでますか」「幼稚園の教育内容に満足していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で 80%以上にする。
- ・平成 30 年度の保育アンケート調査で、「子どもは、様々な体験を通して、体を存分に動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で 80%以上にする。
- ・平成 30 年度の保育アンケート調査で、「お子さんは自分の体を大切にしようとする意識をもつことができる」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で 80%以上にする。
- ・平成 30 年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は『食育だより』や、食に関する掲示・朝食チェックシートなどを通して食の大切さを啓発している」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で 80%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立中大淀幼稚園 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度の保育アンケート調査で、「お子さんは非常災害時に対する避難の仕方を意識することができていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で 80%以上にする。 平成 30 年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は地域の様々な人とのかかわりの機会を設け、いろいろな年代の人と触れ合うことができていますか」「子どもは年度当初に比べて、進んであいさつをしていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で 80%以上にする。 平成 30 年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は遊びから学びへのつながりを大切に、小学校に親しみをもつことができるように、小学校との連携活動を工夫している」「地域の保育所や中学校と相互に理解を深め、交流活動を工夫している」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で 80%以上にする。 平成 30 年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は園の保育内容や取組を分りやすく保護者や地域に発信していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で 80%以上にする。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 1、安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>非常災害時に自分の身を守るための避難の方法を身につけ、命の大切さに気づく保育を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間計画をたてそれに基づいて訓練を実施する。 年 10 回 併設小学校との合同避難訓練、合同研修を実施する。 年 3 回 親子での避難訓練を実施し、保護者啓発を行う。 年 2 回 	B
<p>取組内容②【施策 2、道徳心・社会性の育成】</p> <p>異年齢交流保育や地域の方とのふれあい、様々な人との関わりを深める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> クラス間での交流活動を実施する。 週 1 回 様々な人との交流活動を実施する。 年 10 回 	B

・あいさつに関する取組を実施する。	学期 1 回	
取組内容③【施策 2、道徳心・社会性の育成】 小学校就学に向けて、なめらかな接続のための幼小連携に努める。		B
指標 ・ 幼小交流の年間計画を作成し、交流活動を実施する。 ・ 教職員が小学校教育に理解できるように合同研修や打ち合わせを実施する。	年 6 回 年 5 回	
取組内容④【施策 3、地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 園の保育内容や取組みを分かりやすく保護者・地域に発信し、園生活の中で育つ子どもの成長を伝え子育て支援につなげる。		B
指標 ・ 毎月クラスだよりを発行する。 ・ パワーポイントや写真掲示を行う。 ・ ホームページの更新を行う。	月 1 回 年 5 回 月 1 回	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月のアンケート調査「お子さんは非常災害時に対する避難の仕方を意識することができますか」の項目について、肯定的評価が 84%だった。 ・ 年間計画に基づいて計画通りおこなっている。また、実施後、職員で話し合いをし、改善点など共通理解をしたうえで次の訓練にいかしている。また、子どもには訓練後に振り返りをおこない「お・は・し・も」の視覚カードを使って指導をしたり、クラスでも絵本や紙芝居を使っての指導をおこなったりすることで、少しずつ避難の方法を身につけている。 ・ 9月5日の「大阪 880 万人訓練」予定日に避難訓練を幼小合同でおこなった。放送を聞き、素早く小学校に避難することや、津波に対する避難の仕方を教職員や子どももあらためて意識する機会となった。 ・ 10月17日には小学校で実施された防犯研修に参加し、警察の方から不審者対応について学んだ。研修後は教職員で防犯について話し合ったり、さすまたの場所などを確認したりすることで安全に対する意識をもつことができた。 ・ 訓練時に園内で活動していた保護者には一緒に避難訓練に参加してもらい、訓練の時の子どもの様子や幼稚園での避難の仕方を知ってもらう機会につながった。また、避難訓練の様子をホームページであげたり、手紙を配付したりすることで家庭でも防犯・防災について啓発することができた。 <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月のアンケート調査「幼稚園は、地域の様々な人とのかかわりの機会を設け、いろいろな年代の方と触れ合うことができますか」の項目は、肯定的評価が 88%、「お子さんは、年度当初に比べて、進んであいさつをしていますか」が 83%であった。 ・ クラス間の交流活動は週 1 回以上行った。4月は、5歳児が 4歳児の朝の準備や弁当の準備等を手伝う機会や集会の時間を設け、一緒に活動する楽しさを感じながら、交流することができるようにした。園外保育の際には、一緒に歩く友達に親しみの気持ちが膨らむように事前にペア活動を行った。5歳児は、4歳児に接する中で、年長児としての自覚が芽生え、優しさや思いやりの 		

気持ちをもって関わろうとする姿が見られるようになってきた。4歳児は、5歳児の姿に憧れたり刺激を受けたりし、同じ遊びをやってみようとする姿が見られた。

- ・保育所との交流は1学期に1回（プール交流）、2学期に1回（運動会ごっこ）行った。中学校との交流は、3回（大淀中学校職業体験1回（2日間）・大淀中学校ふれあい交流1回（3日間）・天満中学校ペガサス隊1回）行った。事前に職員同士が打ち合わせを重ね、共通理解をして活動を進めたことで、子どもたちが安心して交流する姿につながった。
- ・未就園児3歳児子育て支援活動（たんぼクラブ）の子どもたちとも、5歳児は朝の身支度の手伝い等で関わる機会をもった。一緒に歌ったり、体操をしたりする機会も設け、好きな遊びの時間にも進んで関わる姿が見られる。
- ・地域の方との交流として、1学期・2学期に1回ずつ北区絵本の会の方に絵本の読み聞かせをしていただいたり、運動会で行う盆踊りの指導をしていただいたりした。他にも、年長児が大淀東地区敬老の集いに参加して地域の方に歌を聞いてもらったり、大淀東食事サービスで歌を聞いてもらったりふれあいを楽しんだりする経験をした。地域の方に温かく接していただいた経験が、子どもたちが進んで様々な人に関わろうとする姿につながっている。
- ・あいさつに関する取組は、1学期に1回行った。朝正門に立ち、「あいさつ隊」のたすきをつけてあいさつを行った。すすんであいさつをしたり、友達同士であいさつをしたりする姿が増えた。

取組内容③

- ・9月のアンケート調査「幼稚園は、遊びから学びへのつながりを大切にし、小学校に親しみをもつことができるように、小学校の連携活動を工夫していますか」の項目は、肯定的評価が90%であった。
- ・小学校との交流は、年間計画に沿って実施し、1学期は4回（6年生の運動会の演技を見せてもらう・七夕のつどい・プール見学・プール交流）、2学期は6回（ダンス交流・大淀フェスティバル・運動会の遊びを見せてもらう・音楽会の歌を聴いてもらう・みんなで仲良く顔合わせ・みんなで仲良く）行った。小学生が優しく接してくれたり、活動を見せてくれたりすることで、親しみや憧れの気持ちをもつことにつながった。行事の内容に合わせ、事前活動を設けることが、安心して当日を迎える姿につながっている。事後にも振り返りの時間をもつようにしており、プール交流の後にはお礼の絵をかいて届けた。
- ・交流の前には打ち合わせを行い、子どもの実態に合わせて幼小連携を進めることができるようにした。事後の反省会は時間の確保が難しいが、反省を書いて渡すなどして次年度につながるようにしている。

取組内容④

- ・9月の保育アンケート調査で、「幼稚園は園の保育内容や取組を分りやすく保護者や地域に発信していますか」の項目について、肯定的評価が90%だった。
- ・毎月のクラスだよりは、その月に子どもが頑張ったことや、できたことを担任がわかりやすく伝えることができる機会となっている。また、その中で教師のねらいや保育の意図に下線をひいたり、太字にしたりすることで保護者にも幼児期の大切さを知ってもらうことができる機会になっている。また、配付するだけではなく、門でクラスだよりを貼り出すことで、

保護者も熱心に見られる姿がある。

- ・毎日の降園時の連絡はその日のクラスの様子を伝え、月末には保育室降園を行い、クラスでの活動を見てもらったり、伝えたりすることで幼稚園教育に対する理解につながっている。
- ・1学期末には保護者に1学期を振り返ったパワーポイントを見せ、保育のねらいや意図をわかりやすく伝えることができた。また、教師が実際に使っている保育案を保護者に見せることで、計画的に保育を行っていることも伝えることができた。
- ・小学校のホームページに日ごろの幼稚園の様子や園行事の子どもの姿を更新したことで園の保育内容や取組をわかりやすく伝えることができた。また、入園募集や未就園児活動については、適時更新することができた。

次年度への改善点

取組内容①

- ・今後も年間計画にしたがって計画的に避難訓練を行う。
- ・小学校の研修に積極的に参加し、教職員間で共通理解をする。
- ・引き続き、避難訓練の大切さをホームページや手紙などで啓発し、3学期には保護者も一緒に訓練に参加することができるように計画をする。

取組内容②

- ・引き続き、異年齢で関わって遊ぶ楽しさを感じることができるよう、交流の機会をもったり環境の工夫に努めたりする。
- ・保育所や地域の方との交流は、引き続き事前に丁寧に打ち合わせを行い、様々な人に関わる経験を積み重ねる。
- ・2学期・3学期もあいさつ週間を設ける。また、日頃からあいさつの大切さについて考えることができるような保育の工夫に努める。

取組内容③

- ・年間計画に沿って交流を行い、早めに打ち合わせの日程を決める等して、円滑に連携をとる。
- ・幼小の円滑な接続に努め、引き継ぎなどを行う。

取組内容④

- ・今後も早めに見通しを立て計画通り行う。
- ・日々の保育内容や行事に向けた取組など、わかりやすく発信する。

大阪市立中大淀幼稚園 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度の保育アンケート調査で、「子どもは、幼稚園に行くことを楽しんでいますか」「幼稚園の教育内容に満足していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で 80%以上にする。 平成 30 年度の保育アンケート調査で、「子どもは、様々な体験を通して、体を十分に動かして遊ぶことを楽しんでいますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で 80%以上にする。 平成 30 年度の保育アンケート調査で、「お子さんは自分の体を大切にしようとする意識をもつことができる」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で 80%以上にする。 平成 30 年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は『食育だより』や、食に関する掲示・朝食チェックシートなどを通して食の大切さを啓発している」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で 80%以上にする。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 4、全ての基礎となる幼児教育の普及と質の向上】</p> <p>教職員の資質向上を図り、一人一人の子どもの実態を把握し、子どもの興味・関心にあった保育内容や環境の工夫・充実につなげる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育の打ち合わせを実施する。 週 1 回 就学前教育カリキュラムを活用して週案・日案を立案する。 毎日 園内研究保育や指導要請を実施する。 年 6 回 	B
<p>取組内容②【施策 7、健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>のびのびと体を動かして遊び、その楽しさを味わう子どもを育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 体を動かす内容を取り入れた集会活動を行う。 年 20 回 体を動かして遊びたいような環境の見直しをする。 月 1 回 	B

<p>取組内容③【施策7、健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>自分の体を大切にしようという気持ちをもつことができるように、生活習慣の指導を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を作成し、病気やけがの予防の仕方について保健指導を行う。年3回 ・教職員が病気やけがの予防についての仕方を共通理解する。年3回 ・清潔調べを実施する。月1回 ・保健指導内容をパワーポイントや掲示などで保護者に知らせる。学期1回 	B									
<p>取組内容④【施策7、健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>食べ物に興味関心をもつことができるよう、3色バランスよく食べることの大切さを指導する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育だよりを発行する。学期1回 ・朝食チェックシートを配付する。学期1回 ・食育に関する保健指導を行う。年3回 	B									
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>										
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月のアンケート調査「お子さんは、幼稚園に行くことを楽しんでますか」の項目は肯定的な評価が90%であった。 ・週1回、クラス担任で保育の打ち合わせをおこない次週分の週案を立て、子どもたちの遊びや活動などについて共通理解を図った。 ・「知」・「徳」・「体」の項目で反省を記入することで1週間の活動を振り返ることができた。 ・日案は毎日立案し、次の日の保育に備えることができるよう工夫した。 ・園内研究保育を1学期に2回・2学期に2回、指導要請を1回行う予定であったが、都合で1学期に行う予定の1回を2学期に変更した。反省・意見交流の時間を設けることで、保育の資質向上につながった。 <p style="text-align: center;">＜園内研究＞</p> <table border="1" data-bbox="311 1451 1054 1603" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>6月22日</td> <td>A教諭（5歳児）</td> <td>表現遊び</td> </tr> <tr> <td>9月14日</td> <td>B養護教諭</td> <td>睡眠について</td> </tr> <tr> <td>9月21日</td> <td>C教諭（4歳児）</td> <td>表現遊び</td> </tr> </table> <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月のアンケート調査「お子さんは、様々な体験を通して、体を存分に動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目は肯定的な評価が91%であった ・定期的に集会活動をおこない、年長・年少の交流をもつようにした。ペアを組んでふれあい遊びをしたり、体操をしたりして体を動かす遊びを楽しんだ。 ・プール遊びで一緒に入る時間をつくることにより年長児は、年少児を優しい気持ちで受け止めたり、年少児は、年長児への憧れの気持ちが芽生え刺激を受け、挑戦しようとする姿が見られた。 ・月1回程度、遊びの環境の見直しをおこなった。小学校校舎増築工事の為、園庭での遊びの 		6月22日	A教諭（5歳児）	表現遊び	9月14日	B養護教諭	睡眠について	9月21日	C教諭（4歳児）	表現遊び
6月22日	A教諭（5歳児）	表現遊び								
9月14日	B養護教諭	睡眠について								
9月21日	C教諭（4歳児）	表現遊び								

場が制限されたが存分に体を動かせるよう、プレイルームに大型積み木・トンネル・トランポリンなどを準備してサーキット遊びを取り入れ、体を存分に動かすことができるようにした。

- ・行事の後も、続けて遊びを楽しむことができるように保育につながりをもたせるよう工夫した。
- ・週1回、クラス担任で保育の打ち合わせを行い来週分の週案をたて、子どもたちの遊びや活動についてなど共通理解をはかった。
- ・就学前カリキュラムを活用して週末に来週分の週案を立案した。「知」・「徳」・「体」の項目で反省を記入することで1週間の活動を振り返ることができた。
- ・日案は毎日立案し、次の日の保育に備えられるよう工夫した。
- ・園内研究保育を1学期に2回・2学期に2回、指導要請を2回行う予定であったが、都合で1学期行う予定の1回を2学期に変更した。反省・意見交流の時間を設けることで、保育の資質向上につながった。

取組内容③

- ・9月のアンケート調査「お子さんは、自分の体を大切にしようとする意識をもつことができますか」の項目は、肯定的評価が83%であった。
- ・年度初めに保健指導年間計画を作成し、計画に基づいて保健指導を実施した。年間計画を作成したことで、見通しをもって保健指導を行うことができた。
- ・1学期、手洗いの仕方やむし歯の予防についての指導を行った。歌や視覚教材を用いての指導だったので、指導後、歌に合わせて手洗いをするなどの子どもの姿が見られた。2学期には、睡眠に関する指導を行った。持ち帰りできる教材を配付して、その後、保護者へのアンケートを実施したことで、家庭への発信、保護者啓発につなげた。
- ・職員間での共通理解として、夏季休業中に熱中症対策や嘔吐時の対応についての研修を行った。時間にゆとりのある中での研修だったので、職員でしっかりと共通理解することができた。
- ・月1回清潔しらべを実施した。前年度に引き続いて実施日を知らせずに行ったことや、今年度から1回目でハンカチ・ティッシュ・手洗い・うがい・爪切りができた子どもには、ごほうびシールを貼ることができるようにしたことで、ハンカチやティッシュの持参率が上がった。

取組内容④

- ・9月のアンケート調査「幼稚園は『食育だより』や食に関する掲示や朝食チェックシートなどを通して食の大切さを啓発していますか」の項目は肯定的評価が90%であった。
- ・食育だよりについては、1学期に1枚、2学期に1枚発行した。『夏野菜について』や1学期末に実施した朝食チェックシートの振り返りを掲載した。
- ・1学期に1枚、朝食チェックシートを配付・回収した。1週間の朝食の様子や、朝食メニューや工夫していることなどを記入してもらったことで、朝食の摂取状況を把握することができた。
- ・親子栽培で収穫した夏野菜を持ち帰る際に、家庭でどのように調理したり、食べたりしたのかななどをイラストなどで自由に記入できる「やさいカード」を配付し、回収したものを園内

に掲示した。

- ・ 1学期に2回、食育に関する保健指導を実施した。3色栄養や、夏野菜についての内容で行った。夏野菜に実際に触れることのできる内容や、担任と連携し3色栄養の揃ったお弁当の製作を保健指導実施後に行った。子どもが自ら考えたり、触れたりすることで興味をもって話を聞く姿が見られた。

次年度への改善点

取組内容①

- ・ 引き続き保育の打ち合わせを行い、連携をとりながら保育を進める。
- ・ 就学前教育カリキュラムを活用し、「知」・「徳」・「体」がバランスよく育つよう保育案を立てる。
- ・ 園内研究保育をおこない、保育の資質向上につなげる。

取組内容②

- ・ 子どもの興味・関心を広げることができるような環境作りを考え体を動かす機会につなげることができるよう工夫する。
- ・ 打ち合わせ時に環境構成についても話し、より体を動かす機会を増やすことができるよう見直しを進める。

取組内容③

- ・ 今後も年間計画に沿って保健指導を行うが、園内の子どもの実態や、地域の感染症の流行状況なども踏まえて時期に合った指導内容にする。
- ・ 休業中などの、時間にゆとりのある時期を活用し、教職員の研修を行う。
- ・ 今後も清潔しらべを実施していくが、子どもの実態に合わせて実施方法を工夫する。また、子どもたちの清潔な暮らしについて関心をもってもらうために保護者への啓発を行う。

取組内容④

- ・ 保護者が読もうと思うような『食育だより』の内容になるように心掛ける。
- ・ 今後も引き続き、朝食チェックシートの配付を行う。1学期末の朝食チェックシートの結果、ほとんどの子どもが朝食を食べているが、朝食のメニューのバランスが気になる家庭があったので、今後の保健指導や保護者啓発に役立てる。
- ・ 子どもたちが、楽しむことができるような教材作りの研究を行う。偏食や好き嫌い、食事時のマナーなど、気になる子どもがいるので、それぞれについての指導も行う。